

在シドニー総領事通信

第 59 回 ワールドカップ予選日豪戦

令和 4 年（2022 年）3 月 30 日



ワールドカップ予選日豪戦（2022 年 3 月 24 日）

3 月 24 日、シドニーのオリンピック公園で FIFA ワールドカップ・アジア予選の日豪戦が開催され、日本代表 Samurai Blue と豪州代表 Socceroos が対戦しました。試合は後半戦の最後に日本代表が続けて 2 ゴールを決め、日本が 2-0 で勝利してワールドカップ出場権を獲得しました。豪州にとっては残念な結果でしたが、プレーオフで 2 連勝すればワールドカップに出場できます。

今回の総領事通信では、総領事館としてワールドカップ日豪戦の開催をどのように側面支援したかご報告するとともに、今後の日豪サッカー交流について皆様と一緒に考えたいと思います。



シドニー在留邦人の子どもたちのための練習見学会（2022 年 3 月 21 日）

●事前視察団の受け入れと練習見学会

ワールドカップ予選日豪戦は、本年 3 月 24 日に豪州で開催されることが昨年に決まり、シドニーでの開催は本年 1 月下旬に決定しました。早速日本サッカー協会から当館に対して、事前視察団が 2 月上旬に来訪するとの連絡がありました。

これを受けて、当館からシドニー日本人会、シドニー商工会議所、そして元日本代表の田代有三選手が代表を務める [Mate Football Club \(Mate FC\)](#) に連絡し、来訪した日本サッカー協会の事前視察団と協議を行った結果、Mate FC からシドニー日本人国際学校をはじめ当地在留邦人の子どもたちに声をかけて、日本代表の公開練習を見学することになりました。

選手は 3 月 19 日から続々到着し、練習見学会は 21 日にシドニー南部のジュビリーオーバルで行われました。幸い晴天に恵まれ、約 200 名の子どもたちや保護者にとって、Samurai Blue の監督や選手たちと至近距離で接することができる貴重な機会となりました。日本サッカー協会の[ウェブサイト](#)や[動画](#)、[Mate FC](#) や[シドニー日本人国際学校](#)の Facebook に当日の様子が掲載され、[SBS ラジオ日本語放送](#)やその[英語版](#)では私へのインタビューも報道されました。



日本サッカー協会の田嶋会長、村井副会長、加藤広報部長と（2022 年 3 月 24 日）

●日本サッカー協会との意見交換

3 月 24 日の試合当日、日本サッカー協会の田嶋幸三会長、村井満副会長、加藤秀樹広報部長と Mate FC の田代有三代表を公邸にお招きして、コロナ対策をはじめ当地事情についてご説明し、日本サッカー協会の国際活動についてお話を伺うとともに、今後の日豪サッカー交流の推進に向けて意見交換を行いました。

近年、日本のサッカー選手の実力が目覚ましく向上し、世界各地のチームで活躍しているのみならず、日本サッカー協会は国際交流基金や JICA からの協力を得ながら、アジア諸国を中心に日本人のサッカー指導者を派遣する事業を行っているとのこと。サッカーを通じて日本と各国の幅広い層との交流と相互理解が深まっていることを知り、嬉しく思いました。

来年の 7～8 月には [FIFA 女子ワールドカップが豪 NZ で共催](#)され、日本代表の [なでしこジャパン](#)が既に出場を決めています。豪州では元日本代表や J リーグ・なでしこリーグの選手が多数活躍しています。来年の女子ワールドカップの豪 NZ 開催を機に、日豪サッカー交流が更に発展するよう願っています。



試合開始前レセプション（2022年3月24日）

●試合開始前のレセプション

3月24日の試合直前には、会場となったオリンピック公園のスタジアム・オーストラリアで、豪州サッカー協会主催のレセプションが開かれ、日本サッカー協会幹部や山上信吾駐豪大使夫妻、日本企業関係者とともに私も招かれました。

この場で、豪州サッカー協会のクリス・ニコウ会長とジェームス・ジョンソン CEO にご挨拶することができました。このレセプションには多数の関係者が出席しており、Socceroos に協力する様々な団体や企業の名前が読み上げられて、スポーツの世界の裾野の広がりを感じました。

アウェイの会場ということで、大部分の出席者が Socceroos のタオルを身に着けている中、日本関係者は日本サッカー協会からいただいたユニフォームやタオルを身に着けて、楽しく会話をしながらも日本のプレゼンスを示しました。山上大使は Samurai Blue のユニフォーム姿に Socceroos のタオルを首にかけ、日豪友好をアピールしていました。



ワールドカップ予選日豪戦（2022年3月24日）

●日本の勝利、そして日豪スポーツ交流はWin-Win

そして、試合開始！両チームとも得点のないままハラハラする展開が続きました。そして最後に89分で三苫選手が得点を決め、94分で更に2点目を挙げました。日本が2-0で勝利し、7大会連続7度目のワールドカップ出場権を獲得、日本の応援団は大いに盛り上がりました。当地の応援団が、応援席から撮影した試合のハイライトの[動画](#)をアップしているので、よろしければご覧ください。

しかし、豪州はさすがに「フェア・ゴー」精神です。帰り道に周りの豪州人サポーターから「日本は良くやった」と声をかけられ、嬉しく思いました。

サッカーのみならずスポーツの世界は勝敗がつきものですが、日豪スポーツ交流は勝敗にかかわらず相互理解の深化を通じて Win-Win 関係を築くことができる、両国にとって大切な柱です。今後とも、サッカーをはじめ日豪スポーツ交流を大いに後押ししていきたいと思います。

在シドニー日本国総領事 紀谷昌彦